



鷺小だより

児童数
304名

<http://www.kuki-city.ed.jp/washinomiya-e/>

学校教育目標

- ◎学ぶ子
- ◎やさしい子
- ◎元気な子

鷺宮小学校の「さ・し・す・せ・そ」

鷺宮小学校長 江森 浩

あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき心から感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成31年（2019年）、平成最後の年が幕を開けました。学校では、今年度をしめくくる3学期のスタートです。自信や希望をもって進級、進学できるよう子どもたち一人一人の力を伸ばし、成長を支えていきたいと思っております。

さて、冬休み中は、クリスマスやお正月があり、おいしい料理をたくさんいただいたのではないのでしょうか。おいしい料理をつくるためには、「さ・し・す・せ・そ」の調味料が必要だといわれています。これを学校生活にあてはめて、みんながもっと気持ちよく生活できるようになるために必要な「さ・し・す・せ・そ」について、2学期の朝会で話をしました。

「さ」…さきにあいさつ。あいさつには、自分も相手も気元気にする力があります。先生方や地域の方々にあいさつをされるよりも先に、自分からあいさつをしましょう。

「し」…しずかな廊下歩行。教室を出るときに口を結んで、廊下は静かに歩いて、外に出たら元気に遊んでください。

「す」…すききらいなし。できるだけ給食を残さず食べて、丈夫な体をつくってください。

「せ」…せっせと無言清掃。「せっせと」というのは一生懸命ということです。そうじの時間はおしゃべりをしないで学校をせっせときれいにしてほしいと思います。

「そ」…そろったかかと、名札。そろっていると、とても気持ちがいいものです。意識してそろえてほしいと思います。

どれも大切ですが、今年度本校では特に「さ」（先にあいさつ）「し」（静かな廊下歩行）「せ」（せっせと無言清掃）を重点課題とし、指導を繰り返してきました。

その中の「し」（しずかな廊下歩行）は、昔からこの学校でも指導してきているものの、なかなか改善されない問題です。なぜ、廊下は静かに右側を歩かなければならないのか。「走っているとぶつかる危険」「大声を出すと学習の妨げになる」という理由はもちろんですが、「学校での正しい廊下歩行は日常の交通安全につながる」という視点ももつ必要があると思います。教室から急に飛び出して人とぶつかったり、廊下のまん中を走ったり、大声で叫んだりすることは、実際の道路では交通事故にあたり、他者に迷惑をかけたことになってしまいます。道路で、また校外で安全な行動がとれるように、全校でアイデアを出し合いながら正しい廊下歩行が身につくように取り組んでいきたいと思っております。

「せ」（せっせと無言清掃）についてですが、先日「膝つき無言清掃」に取り組んでいる本庄市立本庄東中学校を見学してきました。中学生が膝をつき、無言で（自分と対話しながら）清掃に取り組んでいる姿に感動しました。本校でも、2学期なかばから代表委員会と一緒に無言清掃に取り組み、少しずつ定着してきています。膝をついて無言で床をふく子どもの姿がたくさん見られるようになってきました。無言清掃によって育てたい心としては「我慢する心」「気づきの心」「思いやりの心」「感謝する心」「正直な心」などがあげられます。無言清掃をとおして「美しい学校には美しい心がある」という意識を高めながら、清潔な環境をつくり、豊かな心を育てていきたいと思っております。

これらは毎日の地道な取組になります。保護者の皆様のご理解、ご協力もいただきながら、少しでも改善、向上させていきたいと思っております。3学期もよろしくお願いいたします。